

目次

- 20周年の幕開け ————— 2
- 栗原市を形作る ————— 3
- 栗原市のまちづくり ————— 4
- 10年の歩み ————— 14
- 20年の歩み ————— 16
- データで見る栗原市 ————— 36
- 行政・議会の歩み ————— 38
- 栄誉の楯・
輝く日本一 くりはら大賞 — 40

栗原市誕生20周年を記念する 「キャッチフレーズ」

「つながる ひろがる ずっと栗原」

作者：菅原 優花さん(築館小学校6年(令和6年度現在))

【作品の説明】

子どもからお年寄りまで安心して、笑顔で暮らす栗原市が、これからもずっと続きますようにという思いと、日本一の住みたい田舎に輝くまちなので、たくさんの方が集まり、賑わい、さらに住み良いまちになればいいという気持ちで考えました。

栗原市誕生20周年を記念する 「シンボルマーク」



作者：山本 泰士さん(デザイナー)

【作品の説明】

栗原市誕生20周年記念キャッチフレーズ「つながる ひろがる ずっと栗原」をリボンに見立てて、それにからむ「ねじりほんによ」をイメージしたデザインとなっています。

「神の絨毯」と称される絶景。 栗駒山の秋。



市長挨拶



栗原市長 佐藤 智

栗原市は、平成17年4月1日に、10カ町村という全国でも稀な広域合併により誕生し、今年度で20周年を迎えました。この節目を市民の皆さまとともに祝うことができますことに深い喜びを感じております。

この20年を振り返りますと、「平成20年岩手・宮城内陸地震」と平成23年の「東日本大震災」の発生、令和2年からの新型コロナウイルス感染症拡大など大きな困難がありながらも、市民や市議会、国や宮城県等、関係機関の皆さまの御指導、御協力のもと、よりよい市民生活のための様々な施策を進めることができました。心より感謝しているところであります。

これから先の10年後を考えると、私たちを取り巻く環境は大きく変化しており、急激な人口減少と少子高齢化、激甚化する自然災害への対応に加え、農業、商工業の働き手不足などの新たな課題も見えてきているところであります。これらの課題に立ち向かい、栗原市を更によりよく発展させることを願い、栗原市誕生20周年を記念するキャッチフレーズを「つながる ひろがる ずっと栗原」と決めました。ここには、これまでの歩みを振り返りながら、市民がこれまで以上につながり、未来に向かって広がっていく、そのような思いが込められております。これまでの歩みを止めることなく、未来につなぐ市政づくりに一層精進したいと考えております。

結びに、明日を担う子どもたちに、「豊かな美しい くりはら」を引き継ぎ、「市民が創る くらしたい栗原」を実現すべく、市民の皆さまとともに歩みを続けてまいりますので、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。発行の御挨拶といたします。